
守られて幻想郷

果汁

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

守られて幻想郷

【Nコード】

N3880Z

【作者名】

果汁

【あらすじ】

幻想郷 忘れ去られた妖怪や人間が住まう楽園の地

そんな場所に青年が幻想入りをした。

彼は自分の持つ能力のせいで幻想郷の強者たちから捕食的・性的な意味で狙われている。

果たして彼は貞操を守り抜くことが出来るのか？

一話目（前書き）

初投稿です

目指せ完結！！

一話目

幻想郷　　忘れ去られた妖怪や人間が住まう楽園の地。妖怪は人間を喰らい、人間は妖怪を退治する。そんなお伽話にあるような話がこの幻想郷では常識となっている。

そして、幻想郷ではいくつもの異変が起き、博麗の巫女が持ち前の感と理不尽な強さでいくつもの異変を弾幕ごっこで解決していた。

しかし、当の本人はというと非常に面倒くさがりな性格をしており、異変が起きていない時は、博麗神社でお茶を飲んでいるか境内の掃除しかしていない。参拝客が来ても鬼のような眼差しで賽銭を入れるように威圧感を与え、参拝客に恐怖という名のご利益を与えている。

そんな素敵な巫女さんの名前は「博麗霊夢」
脇がチャーミングな楽園の巫女である。

しかし、最近になって博麗神社に新たな居候が出来た。素敵な巫女さんと違い弾幕ごっこも出来ず、空も飛べない、特に容姿も整っている訳でもない普通の男である。

「霊夢さんや」

「なによ」

「飯はまだかのう」

「おととい食べたじゃない」

「いや、食事は一日三食だろ!!!」

「なんで三日に一食が常識になつてんだよ」

「うるさい!!! だったらお賽銭入れなさいよ!!!」

霊夢の右ストレートが男の顔面に炸裂。

青年は涙目になりながらも霊夢を睨みつけるが、本人は知らん顔である。

「ぐっ・・・居候先間違えたかな・・・」

「別にここを出て行ってもいいのよ？死にたいのならね・・・」

「自殺願望はないからな。しばらくここで居候させてもらうわ。

ただここで餓死するかもしれんが」

一言多いわよと、霊夢はジト目で男を睨むが、男は先ほどのお返しとばかりにスルーした。

「ああー無駄な体力を使っちゃったよ。することもないし昼寝でもするかねえ」

「その前にあんたには境内の掃除があるわよ。働かない居候に価値はないわ」

へいへいと非常に嫌そうな顔をしながらも、青年は霊夢に制裁が加えられるのを恐れてそそくさと掃除を開始した。

「まったく・・・なんであいつはあんなにグータラなのかしら」

彼女を知るものがその場にいればお前が言うなと総ツツコミを言われたであろう。

それにしても、境内でほうきを手に取り掃除をしている青年を見て彼女は思う。

特に何かに秀でているわけでもない、人畜無害な青年がなぜ幻想郷の強者と言われる者たちに狙われているのか。

「幻想郷の『イケニエ』か・・・あいつも運が悪いわね」

そんな青年の名前は「みつる」 数字で書くと326。

幻想郷の強者たちに捕食的、性的な意味で狙われている青年である。

彼の物語はここから始まる

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3880z/>

守られて幻想郷

2011年12月13日01時45分発行